

(7) みどりのボランティアの育成と持続的な拠点確保

＜リーディングプロジェクト【7】＞

1) みどりのボランティアの育成と拠点の現状

1) - 1 みどりのボランティアの育成

市内には、多摩市と協働してみどりのボランティア活動を行っていただいている愛護会やアダプト、多摩グリーンボランティア森木会があります（図 4-(7)-4）。

これらの団体の皆さんには「多摩しみどりのルネッサンス」を推進していくために、すでに実施している多摩市グリーンボランティア講座や多摩市環境学習講座、グリーンライブセンターの3者連携で実施している草花育てなどの各種講座を通じて、さらにみどりのボランティア育成を進めていきます。

またみどりのボランティア育成にあたっては、市民の皆さんのみならず、市内の大学や企業などとも協働して進めていきます。また、現在6大学（桜美林大学、大妻女子大学、恵泉女学園大学、国士舘大学、多摩大学、東京医療学院大学）が位置しており、これらの大学との連携も視野に入れ、みどりのボランティア育成やみどりの状況把握・情報蓄積・情報の整理分析などの方策検討を進めます。

1) - 2 さまざまな主体による市民協働の育成管理

多摩市ではこれまでも、市民の皆さんやアダプト団体、愛護会、グリーンボランティア森木会の方々に多摩市と協働して、さまざまなみどりのボランティア活動を行っていただいています（写 4-(7)-1、写 4-(7)-2、写 4-(7)-3、写 4-(7)-4 参照）。



写 4-(7)-1 アダプト団体(落合 5-3 花の会)による
宝野公園内の花植え活動の様子



写 4-(7)-2 アダプト団体(乞田スマイルタウン)により
緑化が行われている乞田川側道の様子



写 4-(7)-3 グリーンボランティア森木会による
緑地の育成管理活動の様子



写 4-(7)-4 アダプト団体(一里塚緑会)により
管理が行われている貝取山の様子

1) - 3 拠点施設（グリーンライブセンターなど）の現状

グリーンライブセンター（図 4-(7)-2、写 4-(7)-5 参照）や鶴牧西公園のみどりの家や農家風休憩施設（図 4-(7)-2、写 4-(7)-6 参照）は、「多摩市グリーンライブ構想^{※1}」（平成元年 4 月）に基づき、みどり豊かで快適なまちづくりをめざし、都市の緑化を推進していくための拠点施設として、平成 2 年 4 月から「多摩市立グリーンライブセンター及び多摩市立都市緑化植物園に関する規則」（平成 2 年多摩市立規則第 22 号）に基づき開設、管理運営されてきました。

グリーンライブセンターでは、みどりに関する啓発や緑化相談、みどりに関する人材育成、植物などに関わる情報発信をはじめ、さまざまな講座など事業を実施してきました。また、鶴牧西公園では、果樹園や花の谷・野草園の育成管理を市民団体の皆様との協働で行ってきました。

グリーンライブセンターは、「多摩市行財政再構築プラン」に基づき、平成 23 年 4 月より多摩市・恵泉女学園大学・多摩市グリーンボランティア連絡会の三者連携により企画運営をし、施設の魅力づけや利用向上を図っています。

具体的には、「集い・憩い・学びの拠点」をコンセプトに、温室植物の育成管理やグリーンライブガーデンの草花や樹木などの整備・育成管理を行ってきました（図 4-(7)-1 参照）。平成 25 年度には、市民向けの草花講座や樹木管理講座などを 125 回開催して、1,600 名を超える参加者がありました。また、ライブガーデンの四季折々の草花などが豊かになったことで、4 万 4 千人近い来館者があり、近年にない多さとなっています（図 4-(7)-3 参照）。

鶴牧西公園は、平成 26 年度に水田の再整備を行うとともに、みどりの家の利用促進をめざし市民の皆さんと話し合いを開催して、多くの市民の皆さんの関わりを促進することとしています。

グリーンライブセンターや鶴牧西公園のみどりの家などは、来館者アンケートや講座後の意見交換などから、市民の皆さんがみどりに関わる活動の重要な拠点であるとの意見が寄せられています。

市においては、継続的な確保を図る主要な拠点施設として、その必要性を確認し、確保に向けての取り組みを検討します。



図 4-(7)-1 グリーンライブセンターのロゴマーク

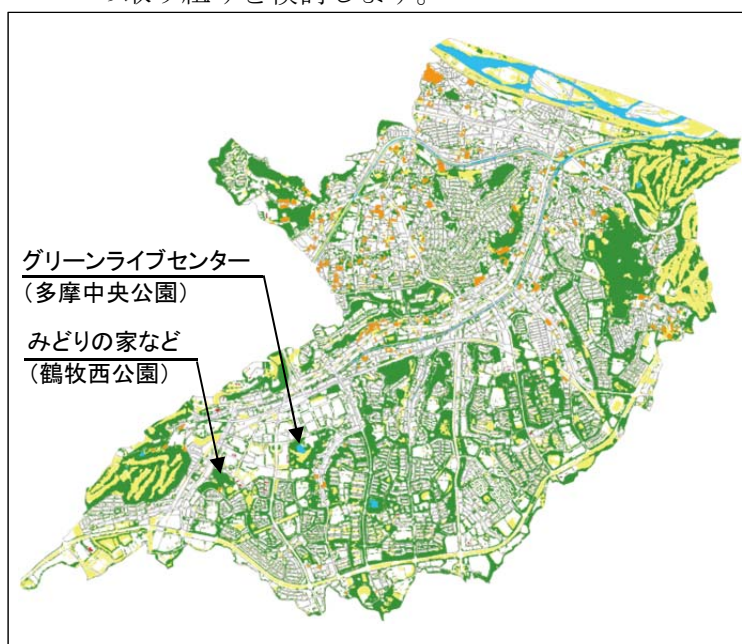


図 4-(7)-2 継続的な確保を図る主な拠点施設位置



写 4-(7)-5 グリーンライブセンター



写 4-(7)-6 みどりの家など

※1 多摩市グリーンライブ構想：みどりを中心とした市民の皆さんの活動が生き生きと実践されていく事を表現しています。

⑤ 植物について相談したり...

植物の育て方や、病気・害虫のこと、自分の庭にあった植物の選び方など、園芸全般についてお答えします。

⑥ みどりの相談コーナー
火～金曜日の10時～15時
(12時～13時を除く) 無料。
電話 (042-375-8716) でもOK



⑥ 講座を受けたり...

植物観察や子供向けの工作、
恵泉女学園大学の公開講座など、
いろいろな講座があります。
詳しくは受付までどうぞ。



⑥ 創作したり...

四季折々の草花や木々を相手に、
俳句やスケッチ、写真撮影などに
訪れる方が多くいらっしゃいます。
講座のない時は、ホールで講習会
などもできますね。



⑥ 季節の植物を愛でたり...

ガーデンには身近な草花やハーブ、野菜、
花や実のなる木など、温室には大きな観葉
植物や熱帯花木などがお待ちしています。
季節ごとに表情を変える植物にふれながら、
散策や観察などお楽しみ下さい。



三角屋根が目印!



GREEN LIVE CENTER

グリーンライブセンターって どんなところ?



緑あふれるガーデン

⑥ のんびりくつろいだり...

赤ちゃんや小さなお子さん、お年寄りと一緒に、
園内でお散歩やおしゃべり、休憩もできます。
ゆったりとした時をお過ごし下さい。



⑥ 調べものをしたり...

やわらかな光の射す静かなホールには
園芸や多摩に関する図書コーナーがあり、
自由に閲覧できます。
園芸以外の宿題や読書などもどうぞ。

⑥ グループでの散歩や遠足に...

小学校や学童、幼稚園、保育園、託児所、
デイサービスなどのお散歩・遠足にどうぞ。
園内のご案内もします。
事前にお問い合わせ下さい。



⑥ ランチやおやつ休憩に...

ガーデンはもちろん、ホール内や温室も
食べ物の持込みOKです。
有機栽培のコーヒー(¥200)、ほうじ茶
(¥100)を販売しています



多摩市立グリーンライブセンター
GREEN LIVE CENTER

〒206-0033 東京都多摩市落合2-35 多摩中央公園内
TEL.042-375-8716 FAX.042-375-0087
<http://www.keisen.ac.jp/tgic/>
開館時間 9:30～17:00
休館日 毎週月曜日と第4火曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
および年末年始(12/29～1/3)
入館料 無料
花とみどりの相談・火～金曜日の10時～15時(12時～13時を除く)

京王線新宿駅から約35分
小田急線新宿駅から約40分
多摩都市モノレール立川南駅から約20分
京王・小田急・多摩都市モノレールの
多摩センター駅より徒歩7分
※駐車場はありません。多摩センター地区
共同駐車場をご利用ください。



図 4-(7)-3 グリーンライブセンターの案内チラシ

1) - 4 公園緑地ボランティア団体の活動場所

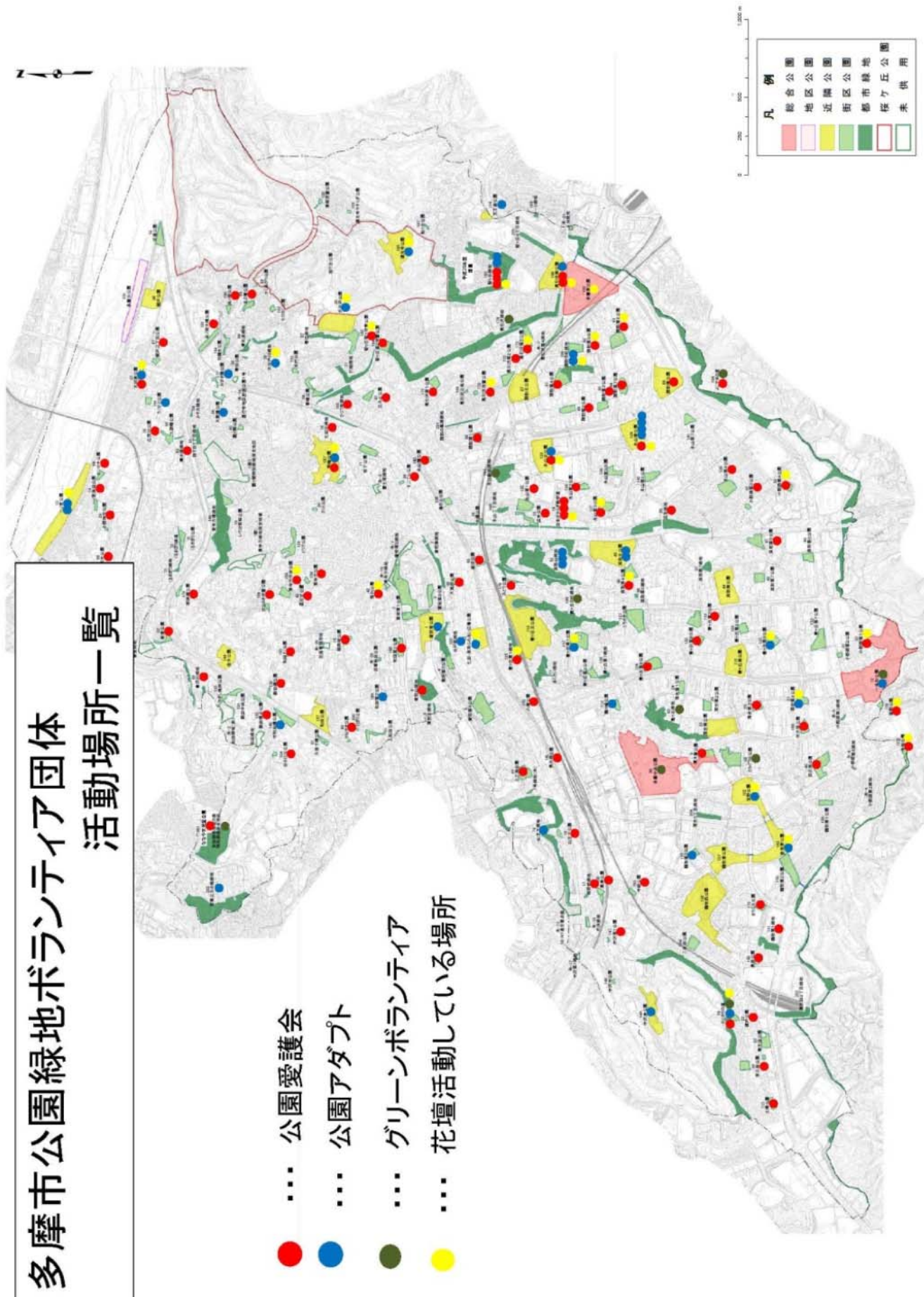


図 4-(7)-4 多摩市公園緑地ボランティア団体 活動場所 位置図

1) - 5 グリーンライブセンターの現状と今後の活用イメージ

グリーンライブセンターの現状と今後の活用のイメージを、図 4-(7)-5 に整理しました。今後は、三者連携推進会議の機能を十分に活用しながら、拠点機能の向上を図ります。

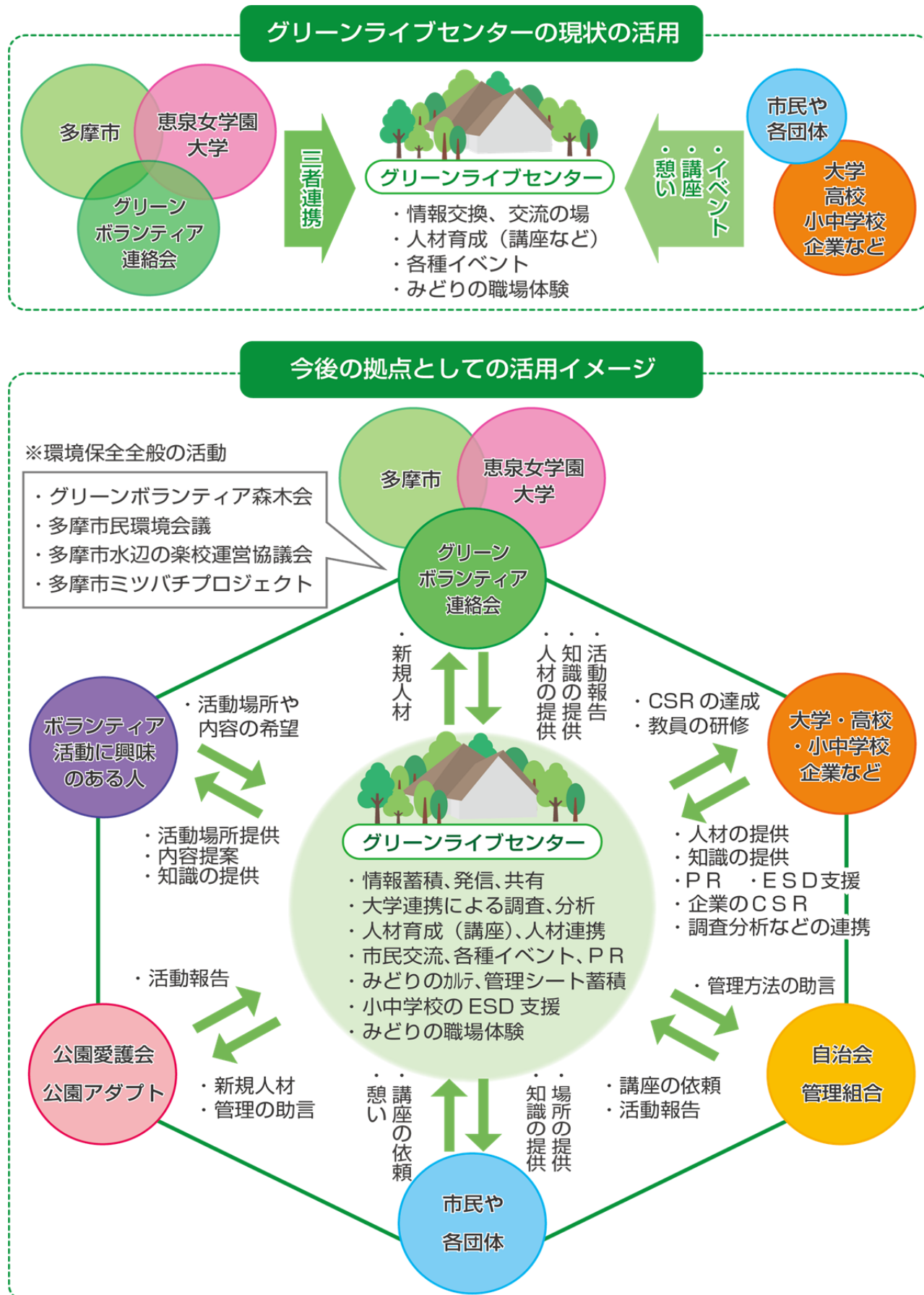


図 4-(7)-5 グリーンライブセンターの現状と活用イメージ

4) 継続的な拠点確保

4) - 1 継続的な拠点確保の取り組み

市民の皆さんのみどりへの関わりによる、みどりの質の向上を図るには、活動の情報交換や情報蓄積、技術習得、仲間作りなどのための継続的な拠点の確保が重要と考えます（写4-(7)-7参照）。

多摩市には、前記したグリーンライブセンターと鶴牧西公園のみどりの家・農家風休憩施設があります。これらの有効活用とその継続的な拠点確保を行います。

またこれらの施設を活用して、ボランティアの育成及びみどりのアダプトや公園愛護会、グリーンボランティアなどの一体的な交流と情報交換を図ります。

図4-(7)-6は、これらの取り組みの考えをイメージしたものです。関係する機関や団体の皆さんとの関連性に配慮しながら取り組みます。

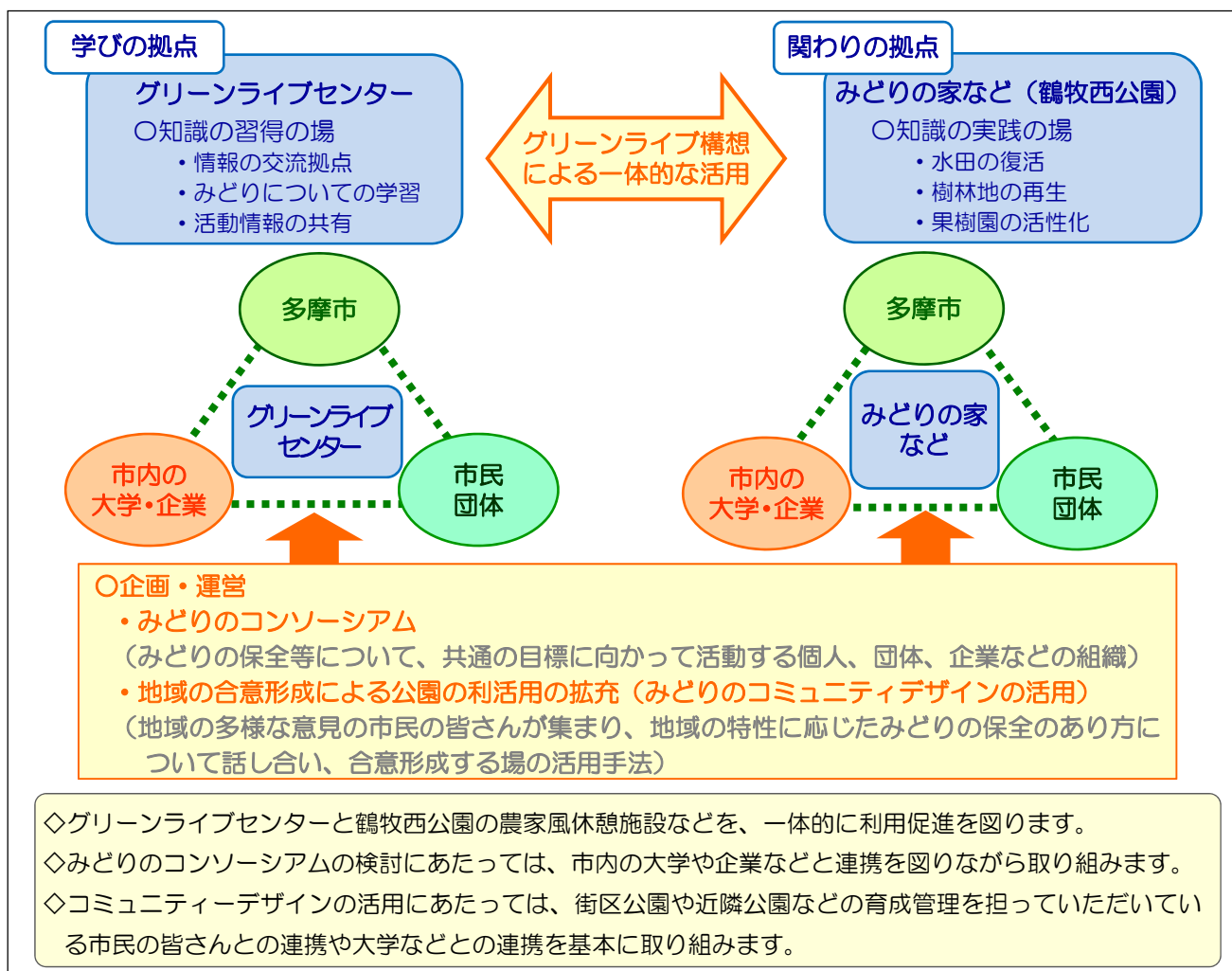


図4-(7)-6 拠点施設の更なる活用イメージ



写4-(7)-7 みどりの活動支援の様子

参考

グリーンライブセンター連携推進会議では、平成 23 年度以来の企画運営状況や「多摩市みどりのルネッサンス」の推進状況などを踏まえて、平成 26 年 10 月に「～グリーンライブセンターの存続に向けた中長期ビジョン～」を検討しています。以下に、参考として案を掲載します。

案

～ グリーンライブセンターの存続に向けた中長期ビジョン ～

多摩市立グリーンライブセンター連携推進協議会
平成 26 年 10 月

1. 中長期ビジョン設定の背景（目標年度平成 29 年度）

多摩市立グリーンライブセンターは、平成 23 年 4 月より多摩市・恵泉女学園大学・多摩市グリーンボランティア連絡会で構成する「多摩市立グリーンライブセンター三者連携推進協議会」（以下、三者連携推進会議と称します。）により、企画運営されています。

三者連携推進協議会では、多摩市立グリーンライブセンターの設置趣旨（「多摩市立グリーンライブセンター及び多摩市立都市緑化植物園に関する規則（平成 2 年 3 月）」）を遵守し、市民のグリーンライブ拠点の永続的な確保並びにさらなる魅力向上を目指して、3 つの中長期ビジョンを設定しました。

2. 中長期ビジョンの目標年次

「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」（平成 25 年 11 月）では、平成 29 年度を目途に多摩市立グリーンライブセンターのその後の存続に向けて再検討することとなっています。これをもとに中長期ビジョンの目標年次を平成 29 年度末としました。

3. 中長期ビジョンと取組みの考え方

三者連携会議では、多摩市立グリーンライブセンターのさらなる存続をめざし、取組みの考え方を明らかにして中長期ビジョンを構築しました。なお、本ビジョンやその取組み項目、達成手段、取組みスケジュールなどは、その時の多摩市の状況や社会情勢、市民ニーズなどにより、修正を加えて取組むこととします。

＜永続的なグリーンライブ拠点の確保及び魅力向上に向けた中長期ビジョン＞

- 三者連携推進会議では、永続的なグリーンライブ拠点の確保及び魅力向上に向けて、それぞれの特性を尊重し、合意形成しながら一丸となって取り組みます。
- 市民や事業者などが、市内の緑や水・生き物などを通じて、集い・安らぎ・学び・交流する場となることをめざします。
- 市民や事業者のみどりづくりに向けて、緑や水・生き物などの情報交流や情報蓄積・情報活用の場となることをめざします。

＜取組みの考え方＞

中長期ビジョン	取組みの考え方
1 三者連携推進会議では、永続的なグリーンライブ拠点の確保及び魅力向上に向けて、それぞれの特性を尊重し、合意形成しながら一丸となって取り組みます。	・連携推進会議を構成する三者は、それぞれの特徴を尊重し、合意形成しながらグリーンライブセンターの企画運営に取り組みます。 ・多摩市におけるグリーンライブ拠点としての機能向上をめざし、協働して「多摩市みどりのルネッサンス」の普及啓発に協力します。
2 市民や事業者などが、市内の緑や水・生き物などを通じて、集い・安らぎ・学び・交流する場となることをめざします。	・グリーンライブセンターにおいて、市民や事業者などが、市内の緑や水・生き物などを通じて、集い・安らぎ・学び・交流する場となるために取り組みます。 ・集い・安らぎ・学び・交流する場となるために、三者連携会議の特性を十分に発揮して、取り組みます。
3 市民や事業者のみどりづくりに向けて、緑や水・生き物などの情報交流や情報蓄積・情報活用の場となることをめざします。	・市民や事業者が取り組むみどりづくりに向けて、緑や水・生き物などの情報交流や情報蓄積・情報活用の場となるために取り組みます。 ・市民や事業者がみどりづくりを行う際には、三者連携会議の特性を活かして、みどりづくりの技術や合意形成の協力・支援を行います。

